



《将来に向けた取組方針》

日本ガイシは事業活動を通じて「カーボンニュートラル」「循環型社会」「自然との共生」の実現に寄与することを「NGKグループ環境ビジョン」に掲げています。持続可能な社会の実現に貢献するために、独自のセラミック技術で新しい価値を提供するとともに、生物多様性の保全を推進します。生態系への環境負荷を最小限に抑制するとともに、環境啓発活動を通じて一人ひとりの意識を高め、自然との共生を図ります。

事例1 社有地での生物調査

夏季と冬季に鳥類、草木、昆虫類について、名古屋市内の厚生施設で定期的な生物調査を実施しています。施設利用者に生物多様性を意識してもらうために調査結果を展示しています。

(早急な対応が必要な外来種は発見されず、適切な管理状態にあることを確認)



事例2 生物多様性保全ボランティア活動



ミスパショウ群生地の保全 (北海道)



海岸環境保全 (石川県)



マングローブ植林 (マレーシア)

NGKグループが立地する行政やNPOと連携した社会貢献活動を実施しています。生物多様性の保全に寄与する活動を推奨しています。

事例3 生物に関する科学情報発信



<https://site.ngk.co.jp/>

身近な科学を楽しむコンテンツ「NGKサイエンスサイト」を運用しています。2021年からは生物に関する科学情報を強化しています。

今後の課題

✓さらなる活動の活性化

✓ポスト愛知目標への対応

社会へのメッセージ

日本ガイシは100年前からSDGs発想。地球規模の課題に向き合い、持続可能な社会の実現に貢献し続けます。